

ふくしのまち福岡



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
城南区社協事務所（城南区社会福祉協議会）
 福岡市城南区鳥飼 5-2-25 城南保健所 1階
TEL:092-832-6427 FAX:092-832-6428
Eメール:jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会
 マスコットキャラクター
 こっこ

町内でよく知る高齢者がいなくなったら？

～「ビッグボス？をさがせ!!」 認知症高齢者搜索体験～

田島校区社協では、令和4年11月13日に、町内に住む認知症高齢者(以下「ビッグボス?」というニックネーム)が、外出したまま行方が分からなくなったことを想定し、子どもや茶山2丁目の住民、校区内外の施設の介護職員、地域のボランティアがグループに分かれて搜索する体験を実施しました。



「ビッグボス?」を探しに出発!



お店で「この人を見かけませんでしたか?」と尋ねる子どもたち

事前に校区社協会長が近所の店舗等を訪問して、搜索体験の趣旨を説明し、地域の理解も得て実施しました。



「どうされましたか?」とゆっくりとした口調で「ビッグボス?」に声をかける子どもたち

体験から得られたこと

- ・子どもが主体的に参加し、楽しみながら学ぶことができた。
- ・搜索中は、通りがかりの人や近所の住民の関心も高かった。
- ・店舗等への協力を依頼した際、一部の店舗では、過去に心配な高齢者を自宅まで送るなどの支援を行っていたことがわかった。
- ・子どもの参加を通じて、その保護者と地域活動者との出会いの場となった。

田島校区社協の宮野会長は「この行事は今回で3回目になり、協力店舗にも校区社協活動への理解が浸透し、手ごたえを感じている。今後も細く長く継続し、見守りの目を広げていきたい」と話していました。

城南区社協としても、コロナ禍の中でも町内単位で小さく集まりながら取り組まれている、住民が安心して住み続けることのできるまちづくりに向けた活動を支援していきます。

ゴミ出しで困っていることがあればご相談を!

～「城南区ゴミ出しdeボランティア養成講座」でグループ結成～

城南区社協では、令和4年9月29日に城南区保健所において、「城南区ゴミ出しdeボランティア養成講座」を開催しました。本講座は、福祉サービス等が利用できずに家庭ゴミの処理が困難となっている世帯等に対し、シニア世代のボランティアがゴミ出しを支援する仕組みを作っていくことを目的として実施しました。今後は、ボランティアが無理なく継続的に活動が行なえるように、本会がゴミ出しで困っている方とボランティアの調整役としてコーディネートを行ないます。

ゴミ出し依頼の要件

- ・城南区内在住であること
- ・福祉サービス等を利用していない
または利用してもなお家庭ゴミの
処理が困難な世帯
- ・依頼者が活動経費（交通費程度）
を負担できること
- ・活動時間10:00～18:00（応相談）

注意!

依頼内容によっては、お引き受けできないこともありますので、ご了承ください。



ゴミ出し支援について想いを語る参加者の皆さん

第2弾

シリーズ
地域の子育て応援活動

子どもの食と居場所運営団体と 関係機関による交流会を開催!

～未来を担う子どもたちのためにみんなでできることを考える～

令和4年11月7日に、福岡市市民福祉プラザにて、博多・中央・城南区社協合同で、子どもの居場所の運営に
取り組む団体、主任児童委員、スクールソーシャルワーカー等の交流会を開催しました。当日は、54名が集い、



様々な立場からみた地域の状況や子どもの居場所について話し合い、共有する参加者

居場所の運営方法についての情報交換や交流を図りました。また、「ななっこ料理道場」(七隈校区)の谷村代表などが、コロナ禍の中での子ども食堂の取組みについての実践報告を行ないました。

区社協では、今後も運営団体や関係機関が緊密に連携することができるよう、情報提供などの支援を行ないます。

参加者の感想(一部抜粋)

- ・これから子ども食堂の開設を考えており、とても参考になる話が聞けてよかった。
- ・子どもの居場所を食事提供の場とするだけでなく、地域に開放した場とすることで気になる家庭を見つけやすくなる感じた。